

# Rリサイクル Recycle Eエネルギー Energy Nニュース News

2008年3月 Vol.50

発行元：リサイクル燃料貯蔵株式会社 〒035-0076 青森県むつ市旭町1-15  
TEL (0175)24-5041 FAX (0175)24-5042  
http://www.rfsco.co.jp

News Flash 1

## 準備工事について説明会を開催しました。

当社が行う「リサイクル燃料備蓄センター」の敷地造成工事や専用道路設置工事などの準備工事について、建設予定地周辺の北通り地区等の皆さまを対象に2月18日～3月2日の期間で説明会を実施しました。説明会では貴重なご意見やご質問をいただきありがとうございました。

準備工事開始後は工事関係車両等の通過などにより、北通り地区の皆さまをはじめ地域の皆さまに「ご不自由、ご不便をおかけするかと思えますが、今後ともご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。

準備工事の詳細は裏面をご覧ください。



News Flash 2

## RFSモニターを募集しています。

当社では、リサイクル燃料備蓄センターの建設・操業に向けて、地域の皆さまからのご意見をいただくため、「平成20年度RFSモニター」を次のとおり募集しています。お気軽にお問い合わせください。

### 【モニターをお願いする方】

むつ市在住の20歳以上で、平日昼間3～4時間程度の都合がつく方

### 【活動内容】

モニター会議での意見交換、原子力施設への視察（1泊2日あり）、アンケートへの回答など

### 【活動期間】

平成20年4月～12月（6回程度開催）

### 【応募方法】

住所、氏名、性別、生年月日、職業、電話番号（平日連絡がつくところ）、応募動機（200字程度）をご記入のうえ、郵送またはFAXで応募ください。

### 【応募締切】

平成20年3月14日（金）到着分まで

### 【その他】

募集人員は15名程度です。応募者多数の場合は、お断りさせていただく場合もあります。

### 【お問い合わせ・ご応募先】

RFS リサイクル燃料貯蔵広報グループ  
〒035-0076 むつ市旭町1-15  
2415043 2415042

## よくわかる R E N

### Q 環境放射線モニタリングとは？

A 施設周辺の放射線量が、法令で定められた年線量限度より下回っていることを確認するために、測定を行うことです。

環境放射線モニタリングとは、原子力施設周辺住民の健康と安全を守るため、原子力施設に起因する放射線から周辺にお住まいの住民の方々が受ける線量（人体が受けた放射線の量を、放射線の種類やエネルギーによる人体への影響の大小を考慮して数値に表したもので、単位としてはSv・シーベルトが用いられます。）が、法令で定める年線量限度を十分下回っていることを確認するために、事業者や自治体が行います。環境放射線等モニタリングには、大きく分けて空間放射線量の測定と環境試料中の放射線測定があります。空間放射線量の測定には、原子力施設周辺の放射線の自動測定器を用いた常時観測、積算線量計を用いた積算線量等があります。環境試料中の放射能測定は、施設周辺の土壌等採取して分析・測定します。

News Flash 3

### 春風亭小朝独演会にご来場いただきありがとうございました。

平成20年2月16日、下北文化会館大ホールにおいて、春風亭小朝師匠をお迎えし、独演会を開催しました。

テンポの良さ、次々と繰り広げられる話芸から会場内は一気に笑いの渦に巻き込まれました。本公演実施にあたり550組1100名様をご招待しようと募集したところ、定員を大きく上回るご応募をいただきました。誠にありがとうございました。

当社では、今後とも地域の皆さまとの交流を大切にしながら、講演会やコンサートを企画してまいりますので、よろしくお願い致します。



# リサイクル燃料備蓄センター 準備工事の概要について

(パンフレットより抜粋)

## ▶ リサイクル燃料備蓄センター計画図



注) 使用済燃料貯蔵建屋の工事は、準備工事には入りません。

## ▶ 準備工事の工程(予定)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
1. 敷地造成工事				
2. 専用道路工事				
3. 事務建屋等構築				
4. 市道代替工事				
5. 美付川改修工事				

## ▶ 準備工事の内容

### 1 敷地造成工事

使用済燃料貯蔵建屋や事務建屋等を構築するため、地面を平らに造成します。造成した土砂は、専用道路の盛土等に極力有効利用します。



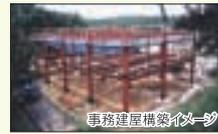
### 2 専用道路工事

キャスク\*を運ぶ専用の道路を構築します。  
 ・道路延長: 約1.5km  
 ・道路幅 : 6.5m  
 \*キャスク: 使用済燃料の貯蔵や輸送に用いる鋼鉄製の容器。



### 3 事務建屋等の構築

将来、社屋となる建物等を構築します。



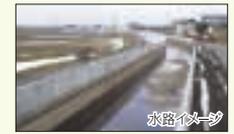
### 4 市道代替工事

現市道を東側に付替えます。  
 ・道路延長: 約740m  
 ・道路幅 : 7m(現市道と同幅)  
 ・供用開始予定: 平成20年11月



### 5 美付川改修工事

美付川の改修を行います。  
 ・水路延長: 約360m  
 ・水路幅 : 5m  
 ・水路高 : 2.4m



## ▶ 工事に際しての基本方針

- 無事故・無災害の現場を目指します
- 環境負荷を極力抑制します
- 交通安全に努めます

## ▶ 具体的対策

### ■ 無事故・無災害の現場を目指します

- 労働安全衛生法等の法令遵守はもとより、当社独自の安全活動を行い、災害の防除に努めます。
- 工事区域を明確にし、第三者事故の防止に努めます。

### ■ 環境負荷を極力抑制します

- 車両台数を極力少なくするとともに、台数の平準化に努めます。
- 建設機械は、極力低騒音、低振動型のものを使用します。
- アイドリングストップに努めます。
- 工事中の雨水排水等は、仮設沈砂池を設置し、適切に処理します。
- 裸地面は緑化等により速やかに保護し、土砂の飛散防止に努めます。

### ■ 交通安全に努めます

- 地域の皆様との連携
  - ① 高松交通安全協議会等における交通安全対策の推進
  - ② 地域交通安全運動への参加
- 通勤・通学時間帯の交通渋滞回避
  - ① 通勤・通学の時間帯に配慮した工事関係車両の通行
  - ② 乗り合い等による集合通勤の励行
- 安全運転指導
  - ① 工事関係車両の安全運転および交通マナーの励行
  - ② 必要に応じて、交通誘導員を配置
- 工事関係車両の明確化および安全意識高揚の推進
  - ① 工事関係車両へのステッカー表示の実施



### ■ 連絡体制の整備

- ① 業務等関係機関との連絡体制の確立

## ▶ 工事関係車両の主な通行ルート



## ▶ 自然環境の保全

工事に際しては、地形改変の範囲を必要最小限にするとともに、以下の保全対策を実施する等、動植物への影響の低減を図ります。

### 1 現地のミズナラ林から種を採取後、苗木を育てて復元します。



**ミズナラ**  
 分類: ブナ科 コナラ属  
 山地に生える落葉広葉樹。樹高は高いもので30m以上に達する。果実は堅果で「ドングリ」とも呼ばれる。

### 2 工事範囲に生育しているオオニガナ等の重要な植物を移植します。



**オオニガナ**  
 分類: キク科 フクオウソウ属  
 環境省レッドデータブックにおいて「絶滅危惧II類(VU)」(絶滅の危険が増大している種)に指定されている。日当たりのよい湿性の草原に生え、高さが約50cm~1mの多年草植物。10月に黄色の花を咲かせる。

### 3 オオジシギ等の重要な鳥類の保全エリアを設けます。



**オオジシギ**  
 分類: シギ科 タシギ属  
 環境省レッドデータブックにおいて「準絶滅危惧(NT)」(現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種)に指定されている。全長30cmで、草丈が低い草原に生息する。